



6月定例会 一般質問



【岩谷市長、埼玉県企業局と連携すると答弁！】

水沼 日出夫 議員「赤沼・銚子口地区産業基盤整備について」

Q 1 整備の現状について

A 1 県企業局から示された見直し後の土地利用計画案などについて、検証を行っているところである。

Q 3 今後の方針に関する市長の考えについて

A 3 県企業局と連携をしながら産業基盤整備事業の早期着手に向けて取り組んでまいります。

Q 2 整備の今後の方針について

A 2 県企業局から示された土地利用計画案について、国が進める東埼玉道路との調整も踏まえながら、協議を進めつつ、農業振興地域農用地区域の除外に向けた農林部局との協議や、市街化区域編入に向けた都市計画の調整を進めてゆく。

水沼 日出夫 議員の一般質問の様子は [こちら](#)



水沼 日出夫 議員



石川 友和 議員

【他市にあまり例がない、異例の人事】

石川 友和 議員「市役所内組織の活性化と人材活用について」

Q 1 岩谷市長になってから初めての職員人事。今回の人事異動のねらいと何をどう強化しようとしたのか。

A 1 職員一人ひとりが能力を最大限に発揮していただけるよう、意向調査等も活用したうえで、適材適所の配置に努め、また民生部門については、業務量が増大していることから、職員の負担軽減を図るために体制を強化した。

Q 2 再任用職員が部長級として登用される事についていつ、制度が変わったのか、また他自治体で同様の事例はあるのか。

A 2 再任用職員制度について、令和4年4月1日に施行した。再任用課長級として任用後に、あらためて再任用部長級として任用された例は確認できていないが、県内他市では、戸田市で2人、久喜市で3人の再任用職員をそのまま部長級として任用している事例がある。

Q 3 看護専門学校はいつ部長級の行政統括監直轄になったのか。

A 3 「組織上は行政統括監直轄となっています。」と記載していたが、誤りであった。お詫び申し上げます。

Q 4 今後、職員が一生懸命に取り組める体制づくりについて伺う。

A 4 職員の声にしっかりと耳を傾け、丁寧な説明をしながら、様々な行政課題に取り組める体制づくりを進めていく。

石川 友和 議員の一般質問の様子は [こちら](#)



【市長及び執行部と、市議会の相互の均衡。二元代表制の原則から感じた疑問】

永田 飛鳥 議員「市長と市議会の関係性について」

Q 1 本年4月の春日部市議会選挙では、岩谷市長自ら『私も応援致します』と一緒に広報などを使い、活動されていた候補者も何人かいらっしゃいました。市長という役職が【市議会】というご自身を【監視する機関】の構成員を決める選挙で特定の候補者を積極的に応援することは、かなりの責任を伴う行為であり、その候補者が掲げている考え、政策を市長が支持をしたからこそ応援したのだと思います。そこで確認ですが、市長が特定の候補者を積極的に応援すると判断された基準は、政策の合意でしかありえないと私は思うのですが岩谷市長のお考えをお聞きします。

A 1 応援依頼のあった候補者の皆さまには、できるだけ応援をしたもので、特定の候補者を応援したわけではない。私に依頼したということは、私の考えに共感しているものと考えている。

Q 2 応援を依頼したということは、市長の考えに共感しているものと考えている。とのことだが、市長の言う私の考えとは具体的にどのようなことなのでしょう。それは政策には一切関わらないことなのでしょう。

A 2 市長の考えについては、選挙時の公約やHPなどに掲げている。

永田 飛鳥 議員の一般質問の様子は [こちら](#)



永田 飛鳥 議員



その他の加盟議員による一般質問はこちら



河井 美久 議員

「春日部駅西口及び市庁舎周辺を災害から強く安心・安全に暮らせるまちに」



金子 進 議員

「内牧公園及び内牧黒沼公園について」「グラウンド・ゴルフについて」「米粉の実証実験について」



山崎 進 議員

「新庁舎周辺の整備について」「農業政策について」「春バスの考え方」



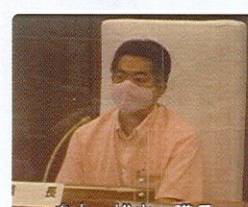
榛野 博 議員

「デジタル行政について」「自治会運営について」



会田 吉幸 議員

「交通弱者への対応について」「東武アーバンパークライン南桜井駅周辺踏切の利便性について」



鬼丸 裕史 議長

改選後の初議会において、議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。市民の生活と健康を守り、二元代表制の一翼を担う議会として、行政へのしっかりと監視機能を果たすとともに、市民の皆様の期待と信頼にお応えすべく、公平・公正な議会運営に努めて参ります。

